

2007. 9. 21

於 中環審地球環境部会懇談会

東大大学院教授 松井孝典

「低炭素社会づくり」長期ビジョン 検討に関する有識者ヒヤリング

美しい星50(Cool Earth 50):2050年に半減する

1. 革新的技術の開発

2. 低炭素社会づくり

- ①基本的在り方:低炭素社会のあるべき方向を示す際
にバックボーンとなる哲学を提示
- ②低炭素社会像:上記を踏まえて、個別の分野・項目に
ついて低炭素社会のあるべき姿を提示

「課題」を宇宙からの視点で考える

- 137億年、137億光年の時空で物事を考えること
- 俯瞰的、相対的、普遍的に物事を考えること
- 文明とは？→「地球システム」の中で「人間圏」を作って生きる生き方のこと
- 地球環境問題とは？→人間圏の誕生によって地球システムに引き起こされた物質・エネルギーの流れの擾乱が人間圏に影響を及ぼす現象：自然災害との違い

低炭素社会の哲学の構築に向けて

- 地球環境の概要
- 地球システムについて
- 人間圏とは？
- 人間圏の発展段階
- 我々とは何か？
- 地球システムと調和的な人間圏の構築

地球型惑星の環境比較

	金星	地球	火星
大気圧	95気圧	1気圧	0.006気圧
全球平均温度	460°C	15°C	-60°C
水の存在量	極微量	270気圧相当	(不明)
水の存在形態	水蒸気	海洋	氷(極冠, 永久凍土)



地球環境の3つの特徴

1. 二酸化炭素が大気の主成分でないこと
2. 酸素が大気の主成分であること
3. 地表に液体の水(海洋)が存在すること
(温暖湿潤な気候)

